
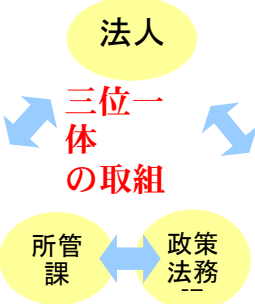

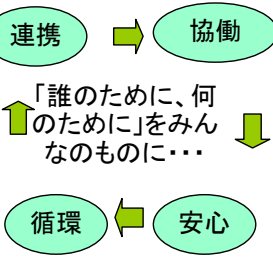




府民サービス向上成果発表会

21年度

所 属	発表事例名	サブタイトル	概 要	
1 丹後土木事務所 【丹後広域振興局】	・OTOK OMAE プロジェクト	ワーク ライフバ ランスから 考える業 務改善	ワークライフバランスをテーマにオフサイトミーティングを実施。実現に向けての業務改善を図るに当たり、各室担当による行動計画策定オフサイト、業務改善の取組を実施。通信発信による周知、スケジュールの共有、バッジの作成、事務支援システムの情報共有活用など職場環境整備を実施した。	
2 南丹保健所 【南丹広域振興局】	・なんた ん子育て 応援コ ラボの取 組	子育て 団体の ネット ワーク化	地域で子育て支援を行っている者同士のつながりを強める一方、各市町等の行政、企業等とも結びつける「なんたん子育て応援コラボカフェ」を実施。各主体協働のイベントを実施した。また、NPOと行政との協働を進める中で、地域や企業の子育て支援情報を携帯を利用して配信する取組が亀岡で開始され、本情報提供システムが22年度から京都府域に拡大して取り組まれる動きにつながった。	
3 政策法務課 【総務部】	・新公益 法人制度 改革推 進のた めの三 位一体 大作戦	ともに考 え、とも に学ぶ、 制度改革 への積極 的なアプ ローチ	新公益法人制度の創設に伴い、新制度へスムーズに移行させるべく全国に先駆け毎週定期的に所管部局と連携し、個別相談を実施。さらに法人ニーズに応じた出前語らいによる意見交換や、テーマ別の説明会も実施。その中で得られた共通する意見や質問事項から独自のFAQ等を作成しHPに掲載するとともに、メール登録した法人や所管課に迅速・効率的な連絡・案内を行い情報の共有化を図っている。また、法人所管部局の検査に同行し、移行手続きを進めるに当たっての相談、助言を行い、法人の要望に応える一方で、所管部局の理解、浸透を深めることにより、役割分担しながら制度改革を進めている。	
4 河川課 【建設交通部】	・鴨川の取 組	多様な主 体による意 見交換が生 み出す共 同の推進	鴨川に関する様々の出前講座やイベントでの鴨川の魅力発信に努めるとともに、府民ニーズ把握のために様々な主体で構成する鴨川府民会議を開催し、府の施策の参考とするスキームができていている。その成果として、平成22年度からの京都市との協働での放置自転車対策、現在実施中の中州除去工事と着実に成果を上げている。	 要望、苦情 (鴨川府民会議)
5 農政課 【農林水産部】	・農林水 産行政 に施策 推進サイ クルの導 入と定着 をめざし て	『誰のた めに、何 のために に…』を 500人 に	本庁の組織再編を契機に、行政経営品質の向上を図るため「ルールドライブ」を「ミッションドライブ」に切り替えるとともに、施策の展開方向を年度当初に明示し、これに基づいて各所属で運営方針の作成、さらには運営目標の策定を行う年間を通じたPDCAサイクル(「農林水産部施策推進サイクル」)を導入し、職員の意識改革も含め、府民満足、さらには職員満足の向上をめざした部内の改革・改善を展開中	
6 中丹東保健所 【中丹広域振興局】	・ほめか た絵本プ ロジェク ト	中丹を 日本一 ほめ上 手な地 域に！	発達障がい児の育児に悩む保護者の支援として有効な「ペアレントトレーニング」の技法は、子どもの自己肯定感を高め、保護者との関係をよりよくなる「ほめかたの基本」を学べる「ほめかた絵本」を作成。より積極的な普及策として、子育て中の府民を巻き込んだ「ほめかた絵本キャラバン隊」を結成。紙芝居仕立てで保育所、子育てサークル等への出前講座を実施中。また、一般販売を計画し、今春の販売を目指している。	
7 総務企画課 【教育委員会】	・教育改 革推進 プロジェ クト	所属の 垣根を 越えた 企画立 案機能 を実現	教育改革の議論がなされている中、各課職員の知恵を集めるためにプロジェクト会議を設置。現場をよく知る教員籍の職員から学校現場の経験をベースとした柔軟な発想での議論を積み上げる。プロジェクトでの議論を通じて得られた、問題意識やその視点が、教育課題に対応した新規施策につながるなどの成果も出ている。教育現場をよく知る教員籍職員が多い職場の利点を活かした取組を行っている。	

府民サービス向上成果発表会

21年度

所 属	発表事例名	サブタイトル	概 要	
8 福祉・援護課 介護・福祉事業課 健康福祉総務課 【健康福祉部】	・ユニバーサルデザインで「あったか府庁」をつくろう！	「だれもが安全・快適」をめざす健康福祉部の取り組み	障がい者や高齢者だけでなく、誰もが快適に安心して暮らせる社会を目指す“ユニバーサルデザイン”の考え方。身近なところでは、目をとじたままシャンプーとリンスを区別できるようにシャンプーのボトルにギザギザの印をつける商品デザインなどに、その例を見ることができる。今回の発表では、この視点を行政の施策や府庁の事務に取りこもうとした健康福祉部の実践を紹介。皆さんの職場でも是非取り組んでいただきたい。	
9 府民力推進課 【府民生活部】	・NPO法人無利子融資制度	NPOと行政の強みを活かした制度の構築	資金不足に悩むNPO支援に向け、きょうとNPOセンターを中心としたNPO・行政・企業の有志による設立準備会での検討を経て府民からの寄付をもとに財団法人を設立し、府民の公益活動を支援する融資制度を設立。金融機関は融資を実行、行政は「府民の力応援基金」を活用した実質無利子の財源支援を行い、それぞれの長所を活かした取組となっている。これまでに相談30件、5件の融資を実行。	<p>伝え「おもい」</p> 
10 乙訓土木事務所 府営水道事務所乙訓浄水場 流域下水道事務所 NPO京都・雨水の会 【山城広域振興局】	みやこ・京のはんなり水めぐり（水循環）～おかえりやす 京の水	水循環を横串に各部署の連携強化による府民へのわかりやすいPRの推進	昨年度「文化環境部」が創設され、上水と下水が同じ部になったので、府営水道事務所と流域下水道事務所間の連携を深めた。今年度はさらに本庁関係課と建設交通部、乙訓土木事務所とも連携を深め、水循環のうち、「人と水の関わり」、「水文化」を意識し、川上から川下への見学会をはじめとするイベントを実施した。その結果、府民の方に「水循環」の大切さを伝えることができ、職員の熱意も伝わる中で水循環における行政及び府民の役割についても理解を深めていただいた。また、自治会、河川レンジャー等地域団体との連携もできつつある。	 <p>未来をにうこどもたちと明るい高齢社会のために</p>
先進事例報告				
1 海洋センター 【丹後広域振興局】	海まるごと体験その後	知って欲しい京都の海、漁業、食のこと	地域の皆さんに丹後の海を知ってもらおうと始まった取組。でも定員に達しない。そこで参加者を増やすことを目標に「欲しい人に届ける」募集にするため「ターゲットをしっかりと絞り、どうすれば届くか」を職員で知恵を出し合った。参加した人に楽しんでもらうことにもこだわり職員自身が楽しみながらアイデアを出すことで、楽しんでもらえる企画につながった。さらに21年度は広報にも工夫するとともに、人気メニューを復活。「成功した」「よかった」を超える取組を目指した。	
2 企画総務課	窓口サービス改善事例	庁内で参考にした事例集	発表には至らないものの、職場内で改善に取り組む事例が少しずつ増加している。特に窓口の対応を意識したものはすぐにでも取り入れられるものが多い。そこでそれらの事例を御紹介し、多くの職場でとりいていただきたいと考えている。	
表 彰（最優秀賞 1チーム、 優秀賞 2チーム）				
最優秀賞：ほめかた絵本プロジェクト 中丹東保健所（中丹広域振興局）				
優秀賞：NPO法人無利子融資制度 府民力推進課（府民生活部）				
優秀賞：ユニバーサルデザインで「あったか府庁」をつくろう！（健康福祉部）				